

会報

第2510地区 第11グループ
函館東ロータリークラブ
2023~2024

- 例会場／ホテル函館ロイヤルシーサイド
TEL(0138)26-8181(代)
- 例会日／毎週火曜日 12:30~13:30
- 事務所／函館市新川町1-24 R4TM新川町2F
TEL(0138)23-3870 FAX(0138)22-2251
- 会長／吉村昭夫 ●副会長／吉川達也
- 会長エレクト／平井喜一
- 幹事／松井明子 ●副幹事／番場優
- 友好クラブ／長崎東ロータリークラブ

継続と変化、そして希望

2023~2024年度 会長 吉村 昭夫



世界に希望を生み出そう

ゴードン R. マッキナリー
国際ロータリー2023-24年度会長

第3125回 8月22日(火)

本日のプログラム

「保護司と保護司会活動について」
保護司 遠藤 信吾 氏

次週のプログラム 8月29日(火)

世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」
函館市教育委員会 生涯学習部
文化財課 主査 吉田 力 氏

第3124回例会 2023年8月8日(火) 天候 晴

月間テーマ 会員増強・新クラブ結成推進月間

■ロータリーソング 我等の生業

■司会 吉村 昭夫 会長

■会長報告

1、理事会報告

■幹事報告

1、他クラブ例会変更：8月18日(金)・25日(金)函館五稜郭R C共に移動例会。

「ロータリーの友」について

広報・雑誌委員会 委員長

森元 浩 会員



本年度雑誌委員会委員長を拝命いたしましたが、活動計画の一つとして、雑誌の中の特筆すべき記事について、例会時を活用しての紹介を上げました。本日卓話に時間を頂戴いたしましたので、「ロータリーの友」についてお話ししたいと思います。

さて、「ロータリーの友」は、縦書きである左開きのページと、横書きである右開きのページによって構成されています。区分としては、縦書きページが概ね国内のロータリー活動を中心として、横書きページが概ね国際ロータリーに関する記事となっております。

縦書きページは、まず「スピーチ」という5ページにわたるコーナーです。その時に話題になっている出来ごとについて、知識や教養として知つてほしいことを、その道のプロが解説するコーナーですが、IMにおける講演を想定すればわかりやすいかと思います。専門家の寄稿だけにちょっと難しい面もありますが、なかなか勉強になります。7月号では、元厚生労働事務次官の村木厚子さんが「女性がより活躍できる組織・社会づくり」という題で寄稿されています。

次は『この人訪ねて』というコーナーで、特徴ある活躍をしているロータリアンを紹介しています。7月号では、三原ロータリークラブの花田彰浩さんを取り上げて、「牧場から牛肉の卸、小売りファミレスまでおいしさ求め、マルチに活躍」という題で記事にしています。

その次は新コーナーかと思われるのですが、「日本人とお米の話」という題で、7月号は鎌倉R Cの

久保田秀男さんが「瑞穂の国」について書かれています。米という言葉に関する蘊蓄や日本人と米との深い関係について書かれており、今後の展開が楽しみです。

次が「俳壇、歌壇、柳壇」で、ロータリアンからの俳句、和歌、川柳の投稿コーナーです。このコーナーをたのしみに読まれている方が多いのではないかでしょうか。

次に「友愛の広場」が続きます。ロータリアンからの投稿ページなのですが、ロータリー活動のみならず、自身が日頃思うことやニュースなどが投稿されていて、百花繚乱状態、なかなか楽しめます。

例えば、7月号では「決議23-34から学ぶこと」、「モズ君と巨匠、至福の交換」…などが寄稿されています。題名を聞いただけでは何やら訳がわからないと思います。詳しくは、本誌をお手に取ってご覧ください。それと、このコーナーには「うちの子」という、ロータリアンが愛玩しているペットの投稿写真が挿入されています。なかなか癒されます。

さて、縦書きの最後は「卓話の泉」です。クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを選んで要約、掲載しています。7月号では、札幌モーニングR Cで行われた「人材採用の傾向と対策」に関する卓話を掲載しております。それと、同じページに掲載しているのが「私の一冊」というコーナーで、各ロータリアンが愛読書を紹介しております。小さいコーナーですが、読書家には興味深い記事だと思います。

7月号では、「習近平三期目の狙いと新チャイナ・セブン」という本を、岡山後楽園R Cの高原弘海さんが紹介しています。

次に横書きのページです。先に申し上げた通り、横書きのページは国際ロータリーの視点で編集されています。詳しく見てていきましょう。

まず、「ロータリーとは」というコーナーがあります。ロータリーの歴史を短くまとめたコーナーで、ロータリーの歴史とその成長、日本のロータリーについて書かれています。一寸した蘊蓄に便利です。

次からが本文で、その時期のロータリーの行事などが取り上げられます。例えば、7月はロータリーの年度初めになりますので、7月号では、R I会長のメッセージ、プロフィールなどが約10ページにわ

たって紹介されています。

次が「ガバナーの横顔」というコーナーで、各地区のガバナーに関する横顔が紹介されています。

その次が日本のRI理事のメッセージがあり、ロータリー月間にに関する記事へと続きます。7月は母子の健康月間ですので、「持続可能な母子の健康への取り組み」という題で記事が組まれています。

そして、記事の最後が「ロータリー アット ワーク」というコーナーで、各ロータリークラブの奉仕活動の具体例が書かれています。例えば、我が東クラブでも取り組まれている子ども食堂について、福岡東令和あけぼのロータリー衛星クラブが「キッチンカーで出張式子ども食堂」という記事を投稿しております。

以上申し上げてまいりましたように、「ロータリーの友」はロータリー活動に関するヒントの宝庫であると同時に、読み物としても興味深い記事が満載されております。ぜひ、身近においてご愛読ください。

「私と大門そしてロータリー」

副S.A.A.・例会運営委員

佐藤 雄喜 会員



私は松風町に住んで60年余りになります。私が勤めた所が松風町交差点近くの(有)百花園生花販売。入社してから7年位たった頃、松崎清社長より、これから花に携わる人は技術とデザインを勉強していくかないと花卉業界が衰退していくという事で、私を東京へ勉強に行かしてくれました。今あるのは松崎社長のお蔭と感謝をしております。

1964（昭和39）年、仕事が終った後に青函連絡船で青森に、東京迄14時間、勉強のくりかえしをしてフラワーデザイン資格を取得しました。

公益社団日本フラワーデザイナー協会

公認校 名誉本部講師

函館フラワーデザインアカデミー主宰
東京フラワーデザイン研究会 講師

1975（昭和50）年、日本フラワーデザイナー協会主催、フラワーデザインコンテスト全国大会、会場東京九段会館のステージで、15名が競う中、私は優勝し内閣総理大臣賞、日本フラワーデザイナー協会

■ニコニコボックス

吉村会長、松井幹事、新保会員 森元会員、佐藤雄喜会員、本日の卓話宜しくお願ひ致します。

宮崎あけみ会員、鎌田会員、池田会員 月初めです。

小野会員、宮崎徳三郎会員 親睦活動委員会の皆様ご苦労様です。

■ニコニコBOX達成率(目標 1,200,000円)

・本日16,000円 総額166,000円(達成率 13.8%)
ニコニコ BOXで頂いたお金は、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕委員会等の資金となります。ご協力よろしくお願ひ致します。

湯元 啄木亭

池田 恭太 会員

湯川町1丁目18-15 電話 59-5355

大賞を受賞しました。

その後、全国各支部より講習会、デモンストレーションの講師として呼んでいただき光栄に思っております。

百花園さんに勤めたのが20年、(有)雄喜フラワーデザインスタジオを設立して40年過ぎました。

棒二森屋さんの店内装飾、生花販売（正面入口）を40年致しましたが、閉店になり残念に思いながら、今は感謝しかないです。

大門・松風町について、少しお話をさせていただきます。映画館10館（大門地区）、函館市内20館、巴座、公楽、大映、有楽座、テアトル、東映、東宝、映劇、富士館、棒二デパート5階、サイカデパート地下。デパート：棒二森屋、彩華、和光、専門店。美容室・理容室多数。銭湯5店。生花店5店。飲食・キャバレー：精養軒、フロリダ、未完成ともう一軒。クラブ、バー、居酒屋、喫茶店多数。ぎおん通り、ぎおん小路、浅草小路、菊水小路、柳小路等。

渡島・桧山の多くの人達が、賑わいのある大門地区に訪れ昼夜を楽しく、心身をみがいて明日に向って頑張ろうと気持が高まるのではと思います。

函館東ロータリークラブに於いては、入会1989年8月で30年余りになります。入会をすすめていただいたのが39代1995～96年会長 福嶋貢様。

私が勤めていた(有)百花園社長 松崎清様も29代1981～82年会長、32代1988～89年第11分区代理を勤めております。

私も46代2002～03年（平成14）吉川会長のもと幹事をさせていただきました。

入会当時、言われた事はまず出席すること、皆様とコミュニケーションをとること、親睦を大切にする事です。

職業奉仕委員会では、RC40周年事業として1997（平成9）年、漁火通りの壁画。小学生、中学生、高校生の学校へお願いに上がって参加をしていただき、500mを区分をして描いていただきましたが、2015～16年、宮崎あけみ会長の時、漁火通りの壁画消去を小学生・中学生と一緒にいたし、北海道新聞に掲載されました。

2013年、北海道新聞函館工場見学は見て触れた先端技術、28人参加した印象深い思い出です。

■出席報告

・8月8日(火) 会員36名中 出席23名(欠席13名)

本日の昼食メニュー

洋食弁当

市内他クラブ プログラム

8月24日(木)	函館 RC	卓	話
8月25日(金)	函館五稜郭RC	卓	話
8月28日(月)	函館亀田RC	卓	話

◆ テレフォンサービス 26-3170 ◆

東京海上日動火災保険(株)代理店

(株)今井保険事務所

今井 義憲 会員 昭和2-34-12 電話 41-7252